

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年 3月 11日

事業所名 えぶりキッズ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員は保育室スペースとの関係が適切である	9	1	親子通園という事もあり、スペースが十分でないと感じることもあるが、配置を工夫しながら可能な限り環境を整えている	
	2 職員の配置数は適切である	9	1	様々な障害の特性を持つ児に合わせた環境の提供を行っている	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	1	多職種で取り組んでいる	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	2		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	2		
	9 職員の資質の向上を図るために、研修の機会を確保している	10			
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	10			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	12 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10			
	13 個別支援計画に沿った支援が行われている	10			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	10			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		季節を感じられるものを取り入れている	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成している	10			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	1	利用者の情報共有は行うようにしている	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1	全員での実施は難しいため、日誌などを活用しながら、職員間で共有している	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			
20 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	9				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	1	関わる事業所が広範囲に渡るため、十分でない事もあるが、適宜、参画している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	10			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	9	1		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	1		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	9		感染症対策等から現在は障がいのない子どもと活動する機会は設けていませんが、今後の感染症の状況をみながら検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	3		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	2		今後、ご家族に向けてペアレント・トレーニングを定期的に行う予定です
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	10			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	1		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	7		感染症対策等により、事業所の行事に地域の方にもご参加いただく機会の確保はまだ難しい状況と考えています。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	2	緊急時・防犯・感染症対応マニュアルは職員用は策定し対応していますが、ご家族に周知できていないため周知できるように進めています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		避難訓練を定期的に行い、動きの確認をしている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		ヒヤリハットがあった時は、カンファレンスを行い職員に対応など周知している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	10		

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 7年 3月11日

事業所名 えぶりキッズ

保護者等数(児童数) 37

回収数 25

割合 67%

	チェック項目	評価				ご意見
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	1			<ul style="list-style-type: none"> ・広いスペースでのびのび動けます ・のびのび活動させていただいております ・広々としていて子どもが移動したり、遊びやすい
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	3			<ul style="list-style-type: none"> ・障害の程度に合わせた遊び方ができない事が増えた。経験年数の長いベテランが抜けてから、遊ぶ内容も固定化してきた ・OTの先生に会えません。もう少し増やしてもらいたいです ・数は少ないかもしれませんが、きちんと見ていただいています ・親がいるから大丈夫…ではなく、つねに目を離さずみつけています。 ・PTも来てくれ、ポジショニングをみってくれるので安心
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24		1		<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化はもちろんされています ・特に困ることはありません ・しっかり情報共有がしており、子どもとの関わりや親への配慮もあり嬉しい
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・古いですが、落ち着く雰囲気があります ・今も綺麗ですが、建て直しが楽しみです
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	22	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回計画書がきちんと更新されていて、子どものことを考えてくれているのがわかる ・充分であります
	6 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19	2	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に合わせて支援していただいています ・自分の勉強不足でよくわかりません
	7 個別支援計画に沿った支援が行われているか	21	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・十分です
	8 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	6	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムが工夫されていると感じますが、固定化しないように工夫されているとは思いません。よく同じ活動にあたります。午後は子どもが座っているだけというのが、多いです。SRCウオーカーは普段からよく参加されているお父さんが優先になり、参加しても使えない事が多い。療法士や保育士との接触も少なく座っているだけの日は何をしにきたのかわからない感じがしますし、そういう日の方が多いです。 ・午後の活動のバリエーションが増えるといいなと思う。 ・いつも楽しくてまたこれかーとは毎日通っていても全く思わないです ・午後の活動が以前より少ないように感じます(時間的にも活動量的にも) ・時間が短いのもありますが、もう少し何か考えて欲しい
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	10	9	<ul style="list-style-type: none"> ・たまに保育園の園庭開放に行っています ・多くはありませんが、障害のない子と関わるようにしています
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・えぶりキッズについては説明されていると思います。 ・親子入園についての利用の流れがきちんと説明されていない。親子入園についての情報などセンター内のホームページや掲示板に開示して欲しい
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された個別支援計画を示しながら支援内容の説明がなされたか	23			2	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*3等)が行われているか	15	1	3	6	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援プログラムとは具体的にどのようなことか? キッズ内では行われていないと思います。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	21	3	1		・ファイルへの記載や昼休み・活動中に話が出来ている
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	4	2	2	・毎日ようにしてくれます
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	5	1	9	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	3	1	2	・充分です ・色々とすぐに対応してくれるので、すごく助かっています ・わからない
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	3	1	1	・親と子供と一緒に活動することで新しい発見や、新しい動作が見えることがあり嬉しい。活動終わりに一人一人の簡単なフィードバックがあるのが嬉しい
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	23	1	1		・まちコミにて確認できている
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	23	1	1		・されています
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	9	3	1	12	・訓練はしてません。防犯については説明も受けていません ・してないかもです
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	4	1	10	・えぶりキッズの部屋からあの避難経路は教えてもらいました ・以前に何度か参加している ・わからない
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	19	4		2	・ものすごく楽しみにしています ・いつも楽しい療育を考えてくださりありがとうございます ・参加すると反応は少ないが、泣くことは少なく過ごせている ・わかっていないと思います
	23	事業所の支援に満足しているか	21	3	1		・泣くことが多い子供に無理強いせず、いつも温かく見守ってくださりありがとうございます ・いつもありがとうございます これからもよろしく願います ・満足しています ・保育士と子どもが接する機会がありません。保護者と保育士はよく話をしますが、子どもはただ泣いて寝てお昼も食べずにオムツを変えて帰ってくる日も多くえぶりキッズの先生達を覚えられないのではないかと思います ・えぶりキッズは私たち家族にとってなくてはならないものになっています。これからもよろしく願います。 ・通所回数が少ないため、保護者会や避難訓練は「わからない」と回答させていただきました。

< ご意見を踏まえた対応 >

- ・療育活動の内容などについては、職員研修なども行い、専門的な療育活動・支援が提供できるように尽力します。
- ・ペアレントトレーニングは今後年に2回程度行う予定です。
- ・親子入園の希望がある場合は、流れを説明し担当職員につなげるよう対応していきます。
- ・緊急時・防犯・感染症対応マニュアルは、職員には周知されていますが、ご家族に周知できていないため周知できるように進めています。
- ・防災訓練を行う日は、事前におたよりなどで周知を行っていきます。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*3 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。